

## 持続可能な社会の実現のために地域に根ざした継続的な活動を支援 第20回「TOTO水環境基金」助成先団体を募集

～これまで、のべ316団体※<sup>1</sup>に対し助成を実施し、助成総額は4億7000万円以上～

※1: 同じ団体が複数回の助成を受けている場合を含む

TOTO株式会社(本社:福岡県北九州市、社長:清田 徳明)は、**第20回「TOTO水環境基金」の助成先団体を募集します。募集期間は2024年7月1日(月)～8月31日(土)、助成総額は2,760万円を予定しています。**

TOTOグループは2005年度に「TOTO水環境基金」を設立し、水にかかわる環境活動に取り組む団体への支援を続けています。**持続可能な社会の実現のためには、TOTOグループの果たすべき役割である節水技術の追求による環境貢献とともに、地域事情に精通し、地域を支える団体の活動が欠かせないと考えています。**

**これまで国内42都道府県及び海外17カ国で活動する、のべ316団体に対し助成を実施し、助成総額は4億7149万円**となっています。また、TOTO水環境基金の助成先団体の活動に地域の方とともに、TOTOグループ社員も参加しています。助成期間が終わっても情報交換やボランティア参加などを通じ、助成先団体をはじめとする地域の皆様との交流は続き、年々活動の輪が広がっています。

また、今回で「TOTO水環境基金」は20回目の節目を迎えました。今後もより多くの方に活動を知っていただき、継続して発展していくために、想いを込めたロゴを作成しました。



TOTOは創立以来「水」に関わる事業を展開してきた企業として、**2030年に「持続可能な社会」と「きれいで快適・健康な暮らし」の実現を目指す、共通価値創造戦略 TOTO WILL2030**のもと、地域社会の発展と地球環境の保護に貢献する活動を積極的に推進することで、国連の「持続可能な開発目標(SDGs)」に貢献し、今後も世界で必要とされ続ける会社を目指します。

### 「TOTO水環境基金」応募方法

<https://jp.toto.com/company/csr/mizukikin/spirit/thought/>

#### 水環境への想いを込めた新ロゴ



20年近くにわたりおこなってきた、TOTOの社会貢献活動の象徴的な取り組みであるTOTO水環境基金を、より多くの方に知っていただきたく、想いを込めたロゴを作成しました。水源のはじまりを象徴する「しずく」をモチーフに水の大切さを印象づけ、内包される青と緑で描かれた三角形の幾何学模様が、水と環境の密接さと、この取り組みが世界に波及していく様子をデザインしています。水が元来もつ美しさとともに、地球環境の大切さを伝える意図が込められています。

## TOTO水環境基金のしくみ

### ステークホルダーの皆様の想いに応じて拠出額を算出

助成金は、お客様の節水商品購入による節水効果、株主様の寄付、TOTOグループ社員のボランティアや寄付などの参加人数を金額換算し、それらの合計金額とTOTOのマッチングにより決定されます。ステークホルダーの皆様の関わりが増すほど助成金が増えていく仕組みです。

### 地域を支える団体を助成

グループ社員から選出された選考員が「水環境にかかわる課題を共に解決したい」という想いをもって「地域に根ざした活動となりえるか」「一過性の活動ではなく、継続性があるか」という点を中心に選考を行っています。また、助成先団体のネットワークづくりを目的とした「助成先団体交流会」を毎年開催しています。

### 地域社会との協働

助成先団体の活動に地域の方とともに、TOTOグループ社員も参加しています。助成期間終了後も、助成先団体をはじめとする地域の皆様との交流は続き、年々活動の輪が広がっています。

### 社会課題への意識の向上

TOTO水環境基金とのかかわりをきっかけに、社内外のステークホルダーの社会課題に対する意識が向上し、活動の輪が大きく広がっていきます。

## TOTO水環境基金のしくみ



## これまでの助成実績

募集年	回数	助成 団体数	総額 (万円)	特記事項
2005年	第1回	12	1,090	
2006年	第2回	12	1,560	
2007年	第3回	29	8,051	創立90周年記念事業として、助成総額の増額 および助成対象地域を海外(アジア)に拡大
2008年	第4回	16	1,200	
2009年	第5回	18	1,102	助成対象地域を海外(全地域)に拡大
2010年	第6回	10	751	
2011年	第7回	16	980	
2012年	第8回	20	1,007	
2013年	第9回	25	1,300	お客様や株主様、そして社員による環境貢献への関わりが増すほど助成 金が増えていく仕組みに一新
2014年	第10回	22	1,430	国内・海外の助成制度を明確に区分
2015年	第11回	24	1,556	
2016年	第12回	35	9,531	創立100周年記念事業として、助成総額の増額 および助成期間を最長3年間に拡大
2017年	第13回	10	1,752	国内の活動に関しては前回に引き続き、助成期間を最長3年間に拡大
2018年	第14回	10	2,465	
2019年	第15回	10	2,656	
2020年	第16回	12	2,747	
2021年	第17回	11	2,478	
2022年	第18回	13	2,733	
2023年	第19回	11	2,760	
合計		316	47,149	

## 助成先団体の活動紹介



団体名： 難民を助ける会 (AAR Japan)

活動地域： ウガンダ共和国

助成期間： 2024年度

### 【活動概要】

難民居住地にある学校・女子寮に、井戸やトイレ、水浴び場や生理用品焼却炉を建設・整備し、併せて職員・生徒たちへの衛生教育を行う。不衛生な環境であったがゆえに学校に行けず、体調を悪くしていた女性生徒たちが、安心して学べる環境を提供する。

## 第20回「TOTO水環境基金」のスケジュール

選定した助成先団体の活動、および複数年助成による継続した活動は、一年を通して行っています。助成先団体の募集は年1回です。今回、7月に募集を開始し、3か月かけて選考の上、1月上旬(予定)に結果発表します。

2024年度									2025年度		
7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月～		
募集期間		選考期間					助成先決定	交流会	活動期間		

### 「TOTO水環境基金」ホームページ <https://jp.toto.com/company/csr/mizukikin/>

ウェブサイトでは、各団体の活動内容について写真を交えて紹介。  
 活動に携わった方や現地の皆さんの喜びの声も紹介し、  
 より具体的に活動の目的や意味・成果をお伝えしています。

### 「TOTO水環境基金」YouTube <https://www.youtube.com/watch?v=4Wx0Wus-goo>

## 共通価値創造戦略 TOTO WILL2030



「社会的価値・環境価値」と「経済価値」を同時に実現する共通価値創造戦略 TOTO WILL2030 では、「きれいと快適・健康」「環境」「人とのつながり」を取り組むべき重要課題「マテリアリティ」としてサステナビリティ経営を強化し、国連の「持続可能な開発目標(SDGs)」にも貢献していきます。

<https://jp.toto.com/company/profile/philosophy/managementplan>